



EVと住環境について

日産自動車株式会社
渉外部

2024. 2. 16

本日のご説明内容

- EVと住環境についての調査結果の共有
- 従業員によるマンション充電器設置トライアルのご紹介 (Update)

本日のご説明内容

- EVと住環境についての調査結果の共有
- 従業員によるマンション充電器設置トライアルのご紹介 (Update)

調査概要

- 日産は2010年に世界で初めてグローバルな量産型BEV「日産リーフ」を発売して以降、EVの普及を通じたゼロ・エミッション社会の実現を目指し、EVのパイオニアとして様々な施策やビジネスに取り組んでまいりました。EVがより受け入れられやすい環境を用意することでその普及を推進すべく、日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」やバッテリー製造時の新規採掘資源削減など、様々な取り組みを実施してきました。
- 充電インフラの整備により、EVの普及がより活性化すると考えており、その要の一つが住宅の充電設備です。そこで今回、EVと住環境の関連性についての調査を実施しました。調査対象は集合住宅にお住まいでEVの購入意向のある30～50代の男女400名で、調査の結果、EV推進には住宅への充電設備の整備が大きく関わることが、改めて判明しました。

調査実施期間：2022年10月26日～2022年11月1日

調査方法：インターネット

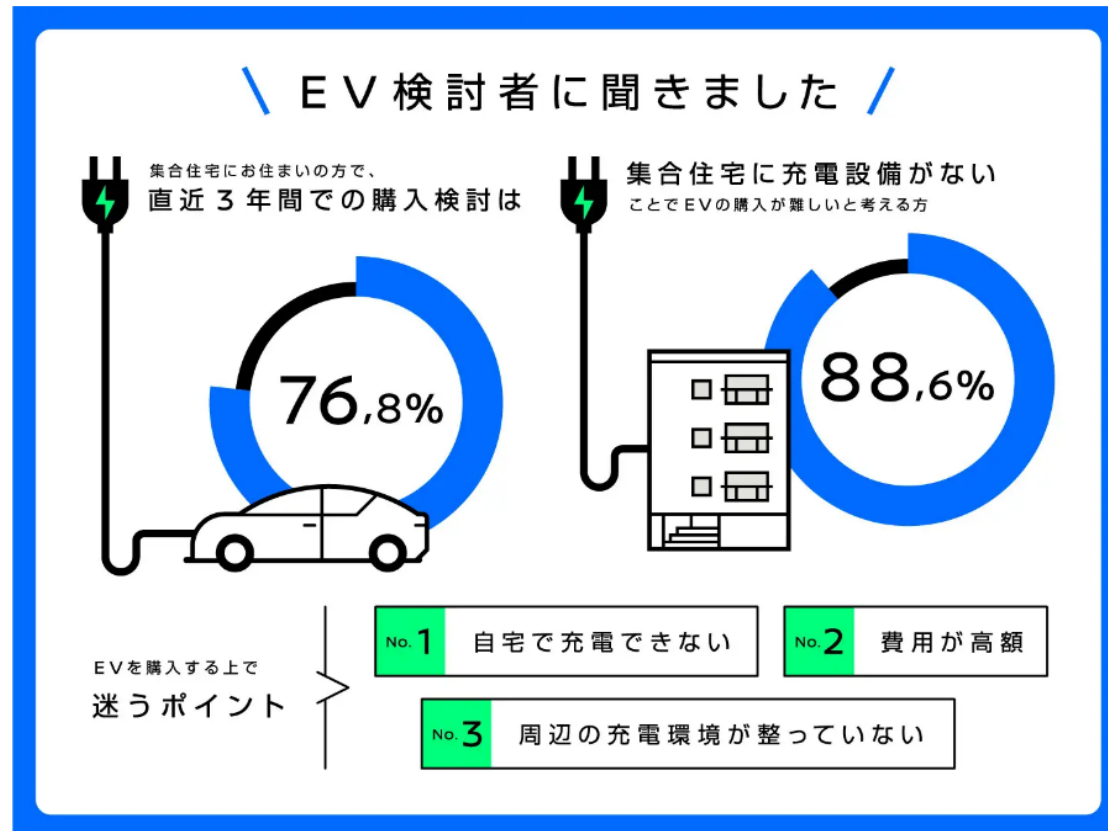
調査機関：楽天インサイト

調査対象：（事前調査）10,953名

（本調査）EV購入検討者（所有者）、及び集合住宅にお住いの30～50代男女400名

調査サマリー

- EVの購入検討時期は脱炭素への意識が高まりつつある**直近3年間で76.8%**
- 購入理由は“環境にやさしいから（63%）”、ボトルネックは、“自宅で充電できないこと(57.8%)”
- 更に、**集合住宅に充電設備がないことでEVの購入が難しいと感じる方が88.6%**と判明
実際、住環境が理由で51%がEV断念経験あり
- EV保有者のうち、半数を超える52.0%が自宅以外の充電スポットで充電を行っている



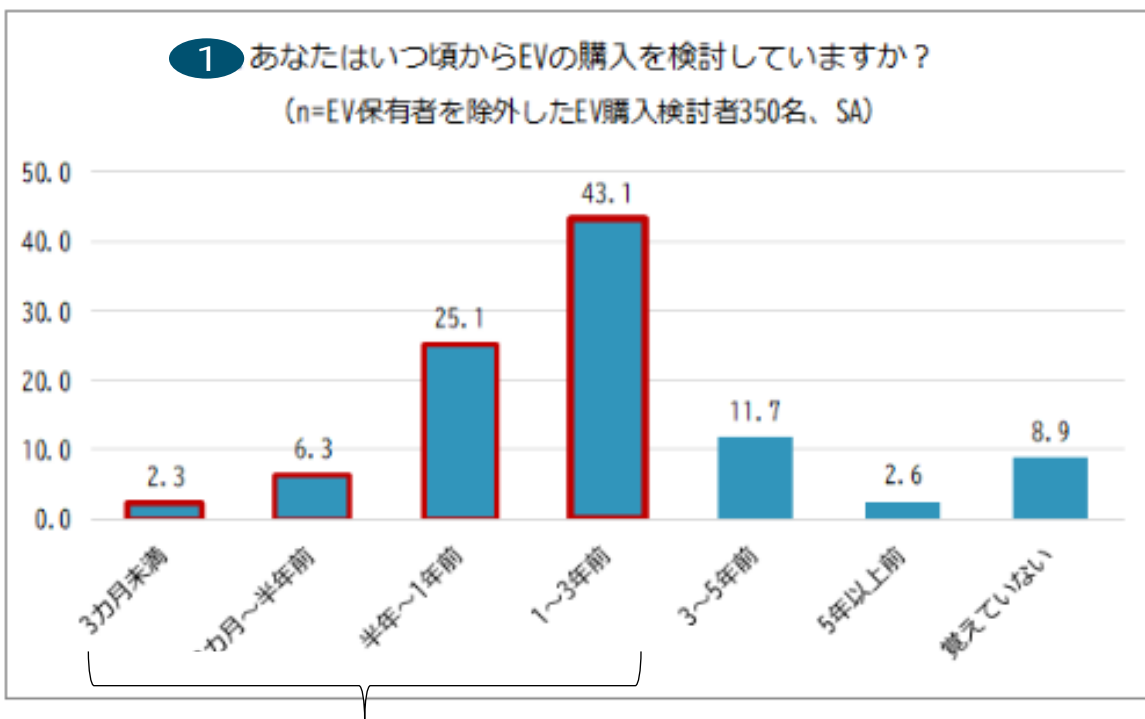
調査結果 (1/4)

1 EVの購入検討タイミング

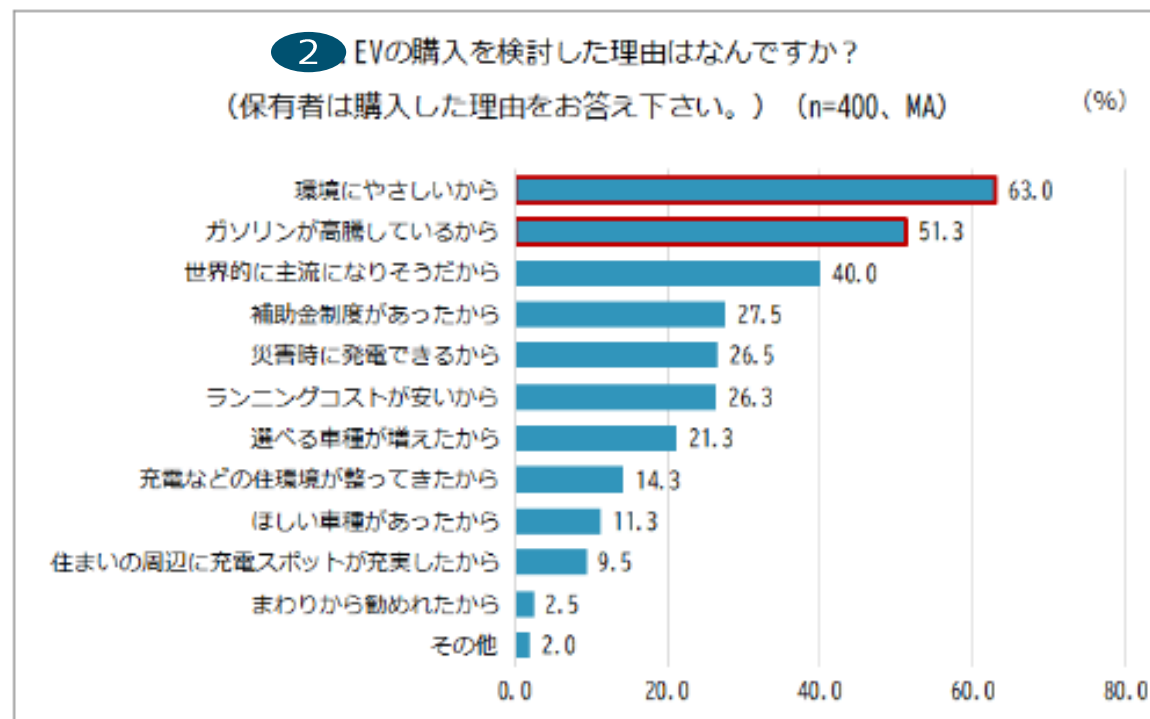
- ✓ 最も多いのは1年～3年前（43.1%）、次いで半年～1年前（25.1%）、1年以内（33.7%）
ここ数年でEV購入意向が高まっている

2 EV購入の理由

- ✓ 最も多いのは“環境にやさしいから”が（63.0%）、次いでガソリンの高騰（51.3%）
社会的な背景が大きく影響している



直近3年以内に検討した人”は76.8%

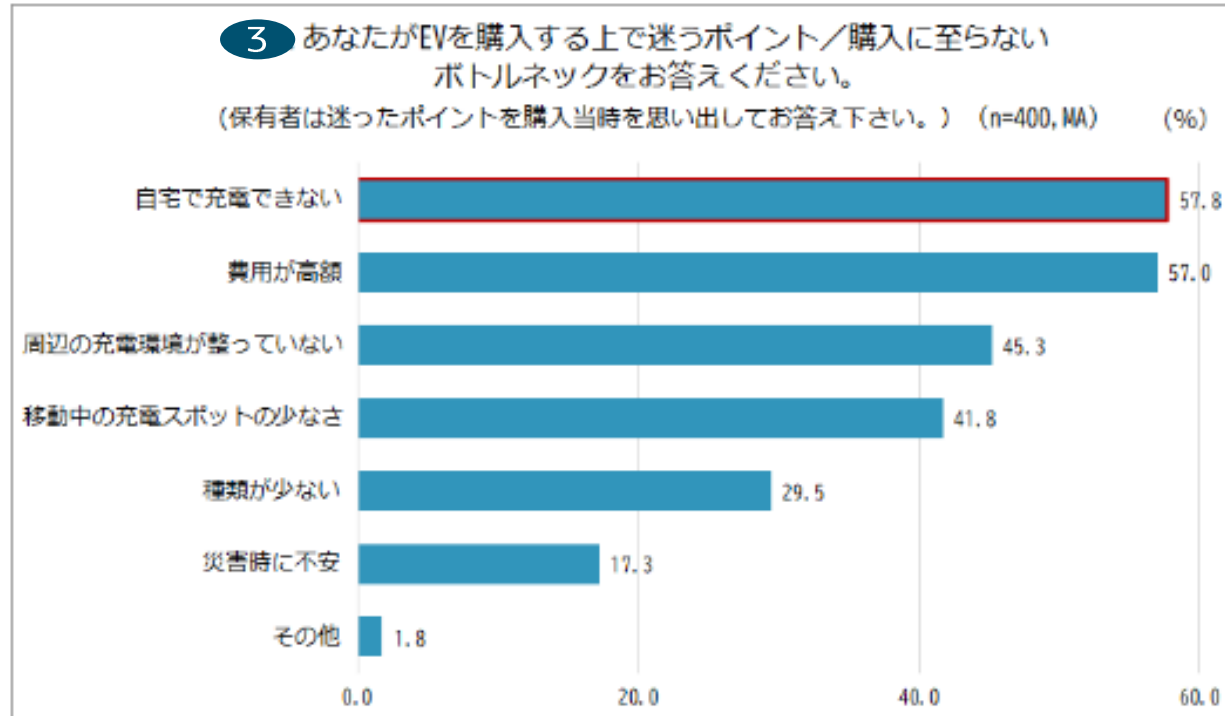


調査結果 (2/4)

3 EVを購入する上で迷う、或いは購入に至らないポイント

- ✓ 最も多いのは「自宅で充電できない (57.8%)」、次いで「費用が高額 (57%)」、「周辺の充電環境が整っていない (45.3%)」

購入価格よりも、住宅の充電環境がもっとも影響していることが分かった



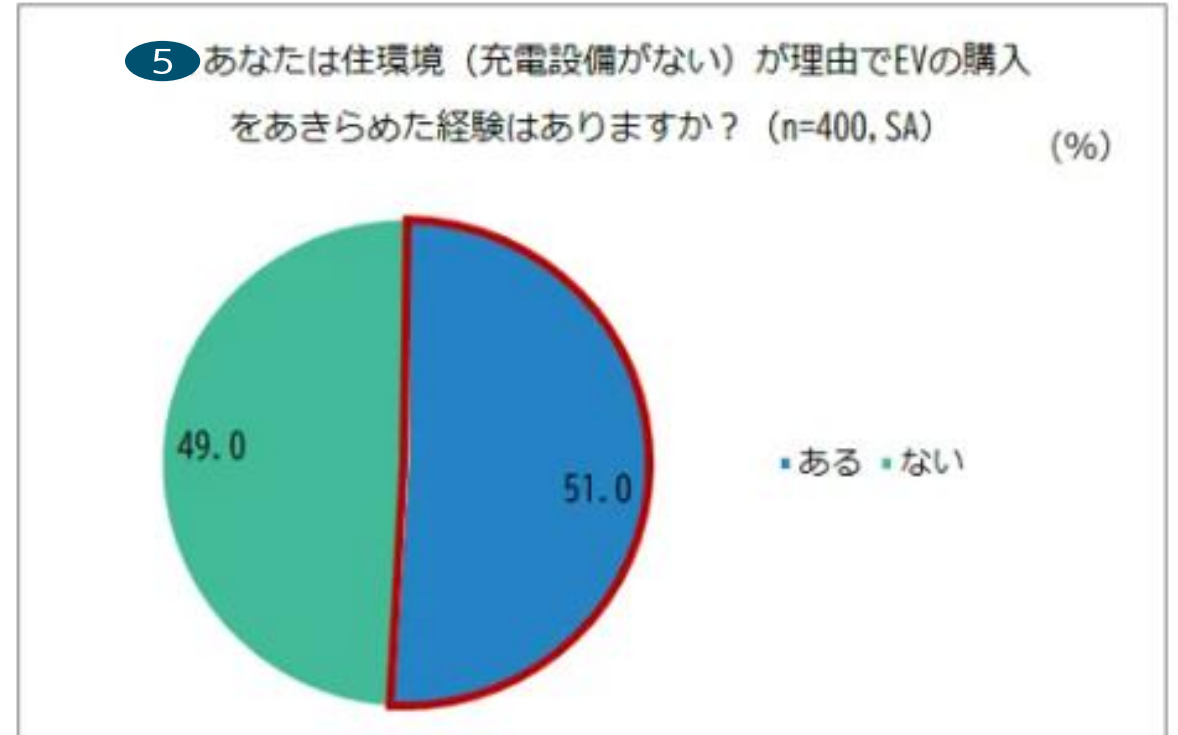
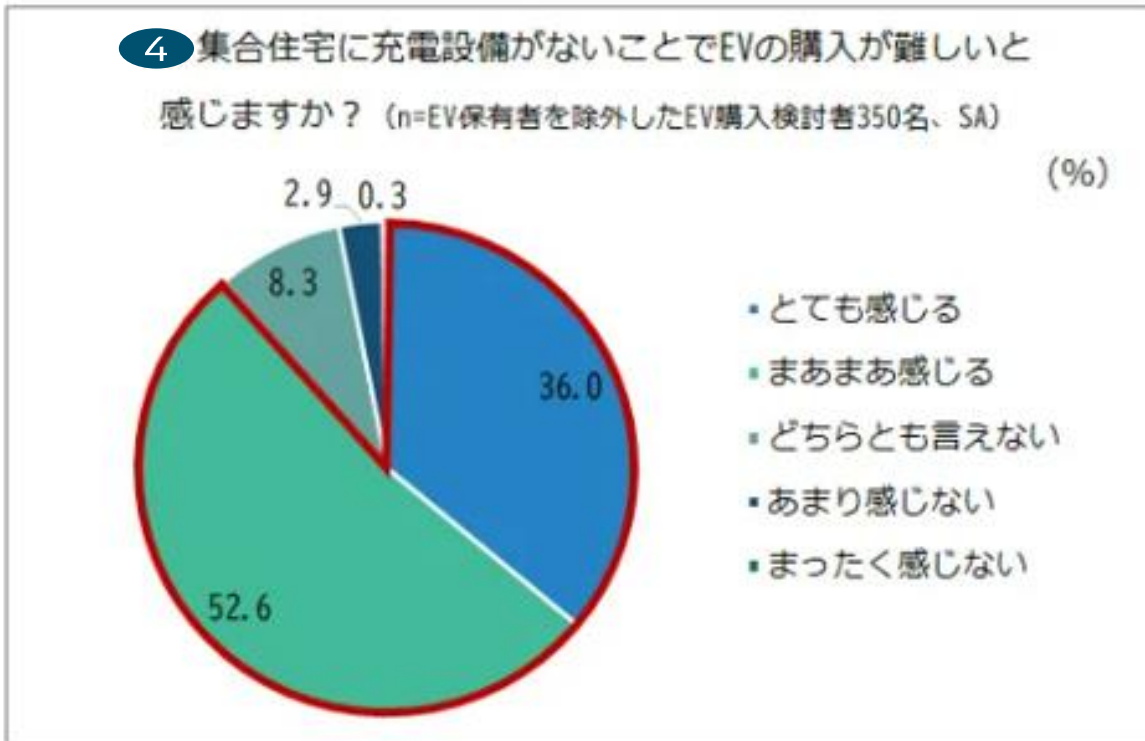
調査結果 (3/4)

4 集合住宅に充電設備がないことでEV購入が難しと感じるか？

✓ 「難しい」と回答する人も88.6%という結果に

5 「住環境（充電設備がない）が理由でEVの購入をあきらめた経験があるか？

✓ 51%が「ある」と回答しており、EV普及のためには、集合住宅との連携が必要なことが浮き彫りになった



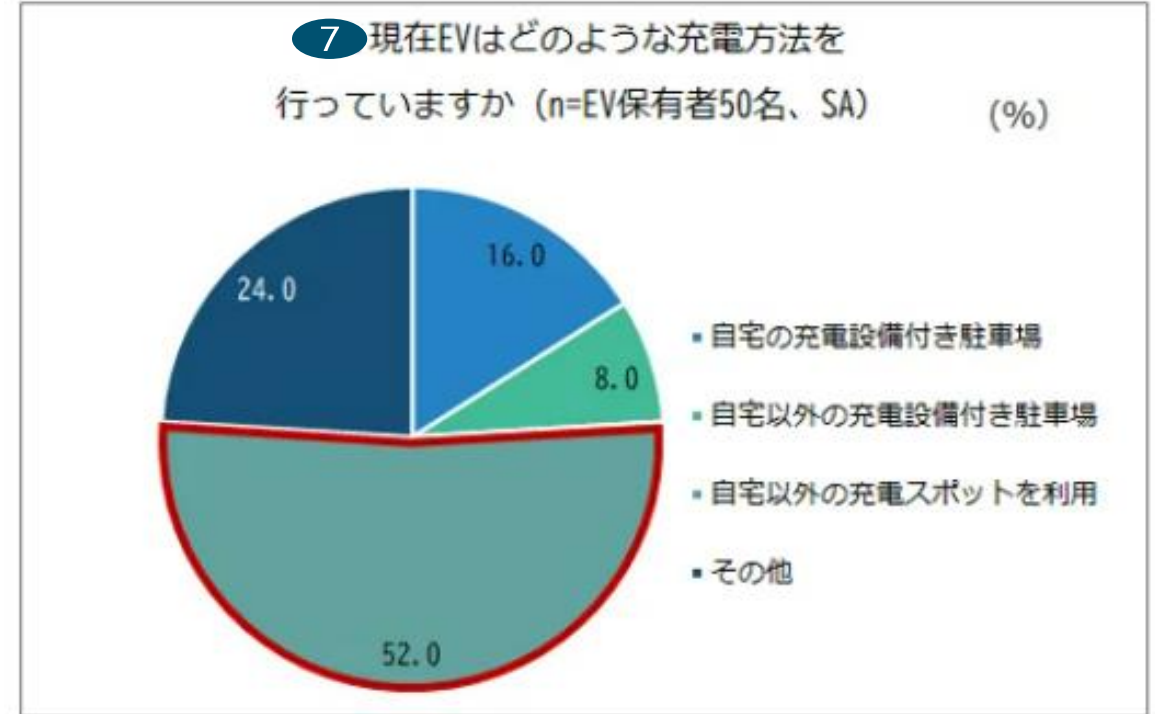
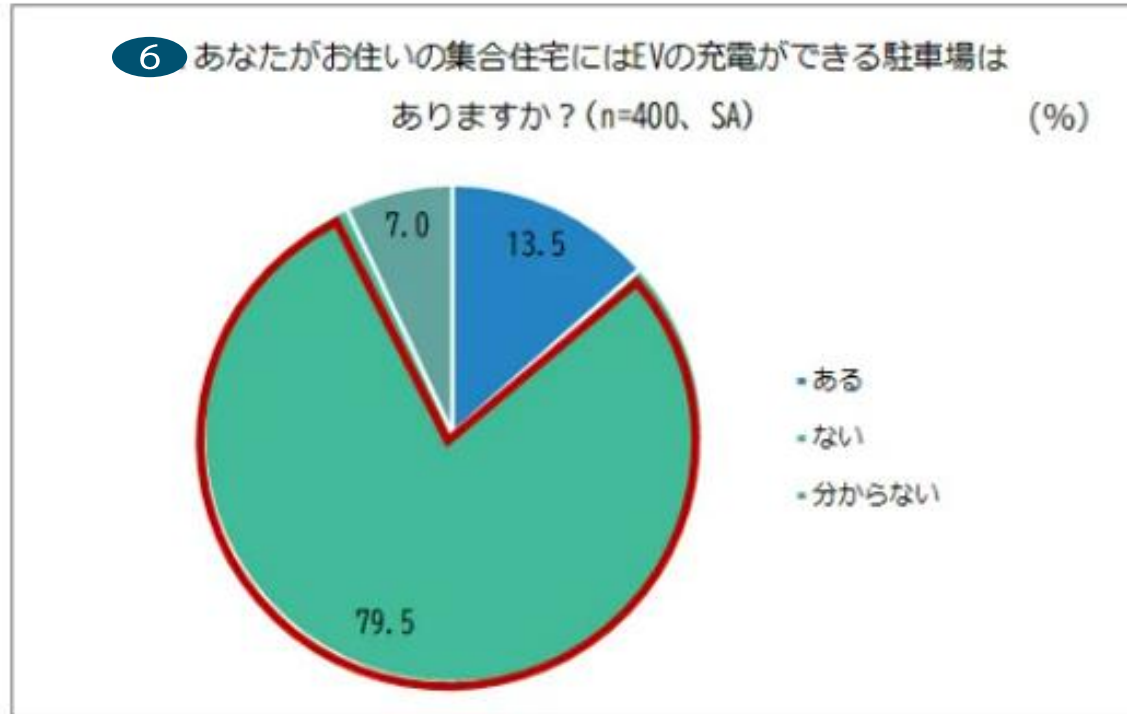
調査結果 (4/4)

6 現在住んでいる集合住宅にEVの充電ができる駐車場はあるか？

✓ EVの購入検討者においても、EV充電ができる駐車場がない方が79.5%

7 現在EVはどのように充電を行っているか？

✓ 実際に集合住宅でEVを保有している50名の充電方法は「自宅外」が52%で、自宅の駐車場で充電している人はわずか16%という低い結果



調査結果より

- 「2035年までに新車販売で電動車100%を実現する」という政府の表明や世界的な「ゼロ・エミッション」、電動化の流れを汲み、EV普及が加速する中でも、日本における普及率はまだ低調ですが、**ここ数年でEVの購入意向が増加**していることが分かりました。
- 事前調査では、**EVを購入したいと回答したのは28.1%**（n=10,953名）と高く、普及率と比較しても購入意向の高さが伺えます。
- そんな中、「**住環境でEVをあきらめたことがある**」と回答したのは**25%**（n=10,953名）で、EV検討者に絞ると**51%**(n=400名)が住環境によりEVを断念した経験があると判明し、充電環境の整備は購入意向を高め、EVが普及する鍵となる重要な要素であることが分かりました。
- 「EV充電が気軽にできる集合住宅があるとしたら住む前に体験したいと感じますか？(n=400名)」という質問では、**81%が利用したいと回答しており**、消費者も住環境への関心の高さが伺えました。

本日のご説明内容

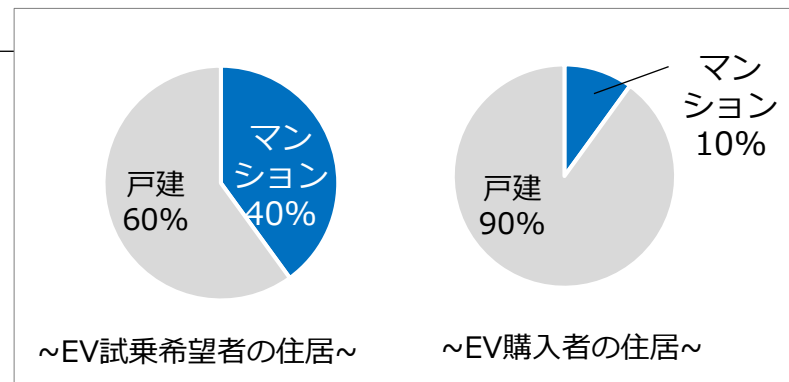
- EVと住環境についての調査結果の共有
- 従業員によるマンション充電器設置トライアルのご紹介 (Update)

従業員自宅マンション充電器設置トライアル（活動概要）

前回ご報告内容

■ 背景

- 国内のEV普及に向けて集合住宅への充電設備拡充は、重要課題の一つ
- 社員自ら活動することで、集合住宅への充電器設置のノウハウを取得すること



■ 活動進捗

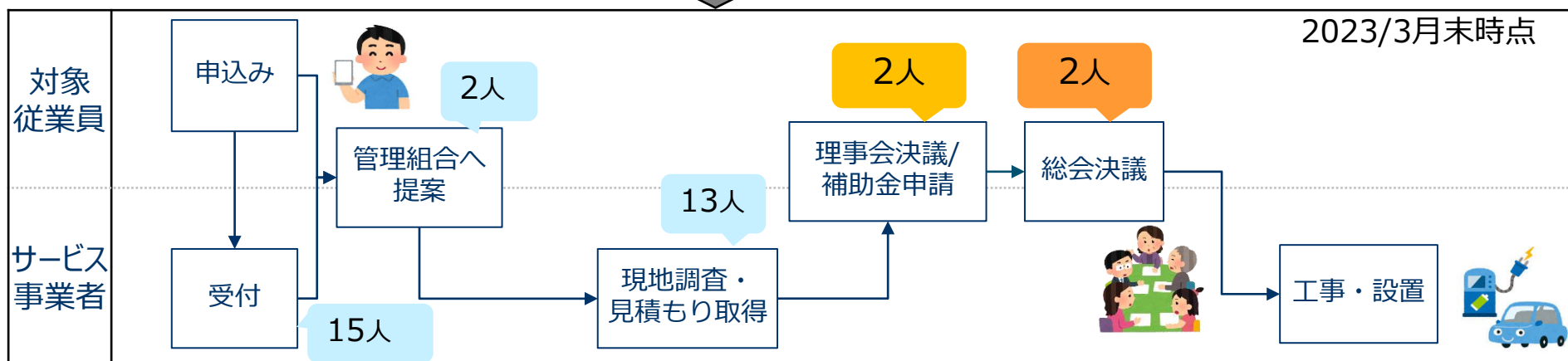
説明会参加者数合計

171人

2022/7月時点

トライアル申込者数

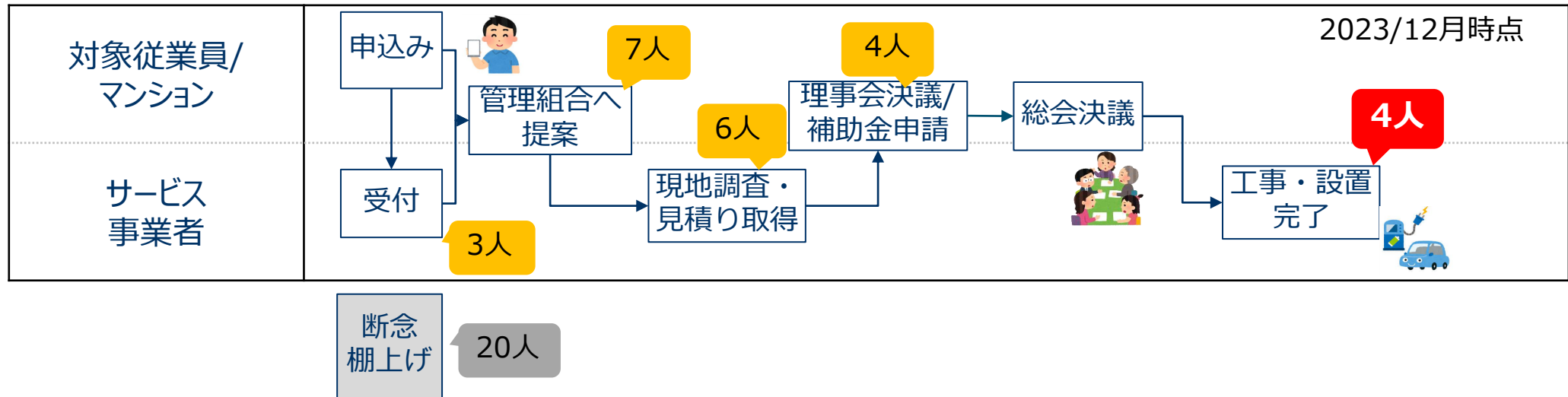
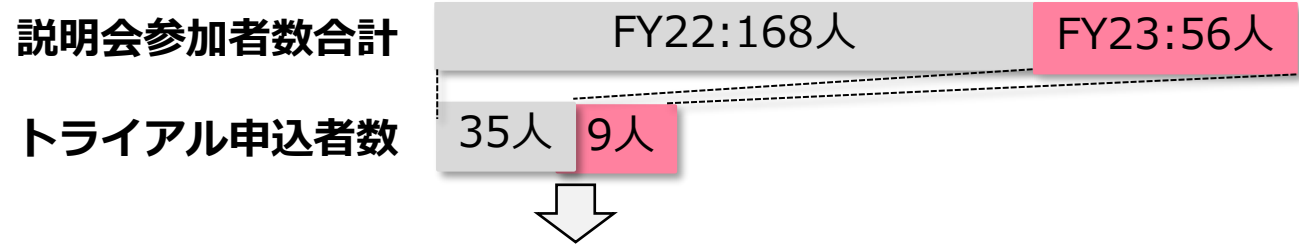
34人



従業員自宅マンション充電器設置トライアル (進捗状況のUpdate)

■ トライアルが開始してから約1年半経過し、参加者44名の内、約半数が進捗中

- **設置完了** 4名
- 総会決議待ち 4名
- 現地調査済み 6名
- 管理組合へ提案済み 7名
- 管理組合へ提案予定 3名



設置完了したマンションでのEV普及活動（秦野市マンション事例）

実施時期	2023年12月
主催者	マンション管理組合（対応販社：日産 神奈川3販社）
開催場所	当該マンション敷地内（164戸）
展示内容	✓ 住民向け日産EV3車種の展示・試乗 ✓ EV給電で温かい飲み物を提供
実施結果	試乗 & アンケート10件取得 商談中車両も1件



<https://yourstand-ev.com/case/ev-test-drive-event-at-mfh/>



設置完了したマンションでのEV普及活動（川崎市マンション事例）

■ 住民向けEV試乗会とマンション前での外部展示会を同時開催

実施時期	2023年12月
主催者	マンション管理組合（対応販社：神奈川日産 & プリンス神奈川）
開催場所	当該マンション敷地内（389戸）
展示内容	✓ 住民向け日産EV3車種の試乗 ✓ 試乗と同時に住民以外も含めたEV展示とEV給電デモ （EV給電でコーヒーとベビーカステラを調理・提供）
実施結果	住民向け：試乗&アンケート17件取得 & 商談中車両1件 住民の実家で1台成約 外部向け：商談中車両1件

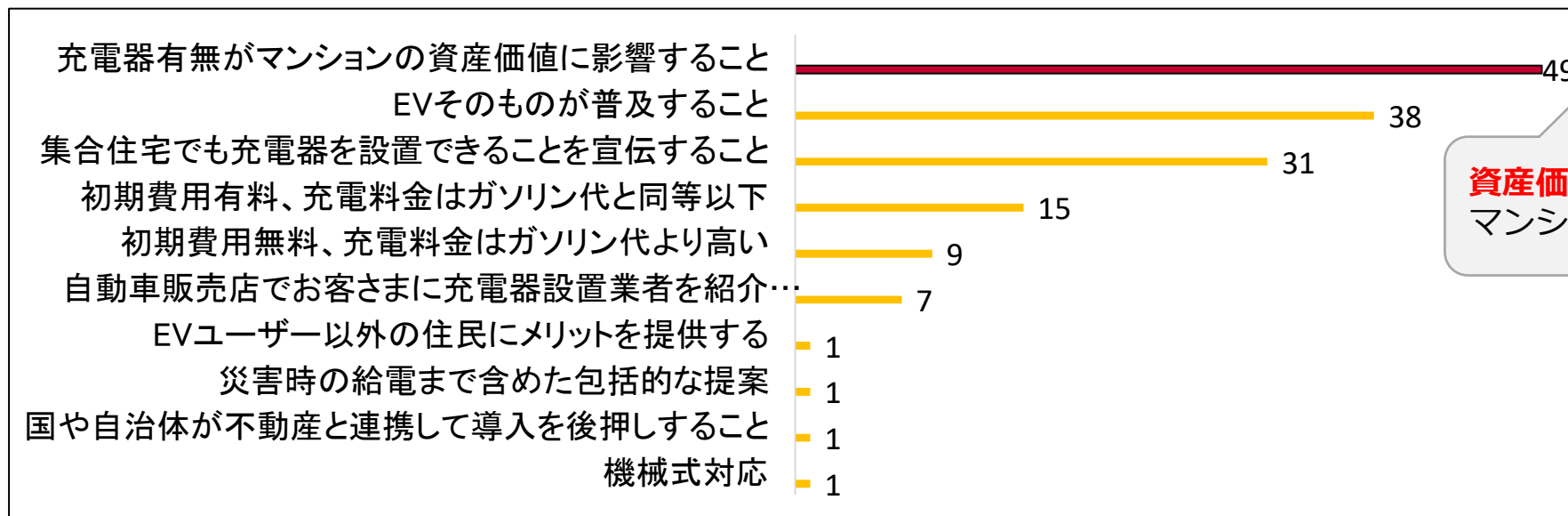


Thank you

従業員自宅マンション充電器設置トライアル (VOC)

✓ 説明会参加者向けアンケートでは充電器設置による「資産価値向上」が好感された

Q. 集合住宅にEV充電器が普及するために効果的だと思うこと（選択式、複数可）



資産価値向上はキーワード！
マンション住人には大人気な観点

現状、充電器付帯がマンションの資産価値向上につながる**定量的な指標はなし**

➡ 定性的に言えること、或いは、今後仕掛けたいこと

- ✓ マンションを売る際に充電器があることで売れる可能性が高くなる（駐車場の有無と同じ）
- ✓ マンションを探すサイトに、充電器を探すcheck項目を追加されれば意識向上に繋がる
- ✓ 不動産売買・賃貸重要事項説明の際にEV充電設備が設置されているか、いないかを説明するようなことが義務付けできれば、売り手、買い手双方の意識向上に繋がる